



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月26日

上場会社名 株式会社 エスティック  
コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 伊勢嶋 勇

TEL 06-6993-8855

四半期報告書提出予定日 平成29年11月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年3月21日～平成29年9月20日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,339	6.7	638	18.0	627	24.4	424	24.1
29年3月期第2四半期	2,192	25.7	540	95.4	503	63.3	341	74.4

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 430百万円 (48.5%) 29年3月期第2四半期 290百万円 (43.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	156.01	
29年3月期第2四半期	125.70	

(注) 当社は、平成28年12月21日付けで普通株式1株につき2株の分割を行っております。  
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,646	4,903	86.7
29年3月期	5,397	4,602	85.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,895百万円 29年3月期 4,597百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		48.00	48.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年3月21日～平成30年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	8.8	987	7.8	1,007	8.3	679	13.4	249.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	2,942,000 株	29年3月期	2,942,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	222,944 株	29年3月期	222,944 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	2,719,056 株	29年3月期2Q	2,719,221 株

(注) 当社は、平成28年12月21日付けで普通株式1株につき2株の分割を行っております。  
これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年11月1日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 国内市場

当社主力販売先である自動車産業界における設備投資の状況につきましては、ネジ締付装置などの自動化設備に対する設備投資動向に多少慎重な姿勢も見えつつも、ハンドナットランナ等の工具を含め全体としては前年に引き続き堅調な設備投資環境が継続しております。

そのような状況のなか、ネジ締付装置は受注状況は堅調ですが売上高に関しては納入時期がずれ込んだことなどにより当初計画を下回る状況となりました。ハンドナットランナ及びナットランナの売上高は前年を上回り堅調に推移いたしました。

#### ② 米国市場

好調な米国経済を背景に自動車産業の設備投資も堅調に推移しており、ハンドナットランナを中心に日系自動車メーカーに加え米系自動車メーカーからの受注も増加しており、前年を大幅に上回る売上高となりました。

#### ③ 中国市場

中国経済全体に減速の兆しが見え始めており今後も緩やかに景気減速が推測されるなか、自動車産業の設備投資も減速傾向でナットランナは前年を上回りましたがハンドナットランナにおいては前年を下回る売上高となりました。

#### ④ その他の市場

タイ市場においては緩やかな景気回復のなかハンドナットランナを中心に売上高が増加いたしました。メキシコ市場でも日系自動車メーカー向けハンドナットランナの売上高が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高2,339百万円(前年同四半期比6.7%増)、営業利益638百万円(前年同四半期比18.0%増)、経常利益627百万円(前年同四半期比24.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益424百万円(前年同四半期比24.1%増)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、5,646百万円と前連結会計年度末比249百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、受取手形及び売掛金が69百万円、仕掛品が150百万円増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、743百万円と前連結会計年度末比51百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、未払法人税等が71百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、4,903百万円と前連結会計年度末比300百万円の増加となりました。増減の主な内訳は利益剰余金が293百万円増加したためであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、764百万円となり、前連結会計年度末に比べて18百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは185百万円の収入(前年同四半期は170百万円の収入)となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額142百万円などの減少要因があった一方、税金等調整前四半期純利益627百万円などの増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは31百万円の支出(前年同四半期は81百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入40百万円の増加要因があった一方、定期預金の預入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出27百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは130百万円の支出(前年同四半期は95百万円の支出)となりました。

これは、配当金の支払額130百万円の減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、平成29年4月27日付の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	797,602	816,207
受取手形及び売掛金	1,637,905	1,707,861
商品及び製品	309,163	285,119
仕掛品	117,607	268,550
原材料	580,692	594,710
繰延税金資産	119,685	92,295
その他	41,919	80,797
貸倒引当金	△7,703	△10,967
流動資産合計	3,596,872	3,834,574
固定資産		
有形固定資産		
土地	829,603	829,603
その他(純額)	518,758	509,404
有形固定資産合計	1,348,362	1,339,007
無形固定資産		
	30,057	29,345
投資その他の資産		
繰延税金資産	22,104	22,337
その他	400,878	422,191
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	422,183	443,729
固定資産合計	1,800,603	1,812,082
資産合計	5,397,476	5,646,657

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	149,792	223,714
未払法人税等	218,500	147,107
賞与引当金	40,715	45,507
役員賞与引当金	—	16,248
製品保証引当金	19,000	31,000
その他	198,144	99,775
流動負債合計	626,151	563,351
固定負債		
退職給付に係る負債	162,583	174,469
その他	5,744	5,521
固定負債合計	168,327	179,990
負債合計	794,479	743,341
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	3,579,997	3,873,675
自己株式	△218,235	△218,235
株主資本合計	4,558,511	4,852,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,270	33,930
為替換算調整勘定	17,897	8,999
その他の包括利益累計額合計	39,167	42,929
非支配株主持分	5,316	8,195
純資産合計	4,602,996	4,903,315
負債純資産合計	5,397,476	5,646,657

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
売上高	2,192,084	2,339,885
売上原価	1,277,813	1,273,114
売上総利益	914,271	1,066,771
販売費及び一般管理費	373,417	428,614
営業利益	540,854	638,156
営業外収益		
受取利息	60	84
受取配当金	1,671	1,682
持分法による投資利益	8,090	1,588
その他	1,151	1,770
営業外収益合計	10,973	5,125
営業外費用		
為替差損	47,833	14,922
固定資産売却損	-	1,345
営業外費用合計	47,833	16,267
経常利益	503,994	627,014
税金等調整前四半期純利益	503,994	627,014
法人税、住民税及び事業税	167,007	179,721
法人税等調整額	△1,100	20,392
法人税等合計	165,906	200,114
四半期純利益	338,087	426,900
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,711	2,707
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,798	424,192

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
四半期純利益	338,087	426,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	604	12,659
為替換算調整勘定	△17,485	△5,293
持分法適用会社に対する持分相当額	△31,010	△3,433
その他の包括利益合計	△47,891	3,933
四半期包括利益	290,195	430,833
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,260	427,954
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,064	2,879

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	503,994	627,014
減価償却費	40,886	36,376
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,097	3,263
受取利息及び受取配当金	△1,731	△1,766
為替差損益(△は益)	3,399	936
持分法による投資損益(△は益)	△8,090	△1,588
固定資産売却損益(△は益)	—	1,345
売上債権の増減額(△は増加)	△309,660	△76,542
たな卸資産の増減額(△は増加)	68,426	△142,001
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,882	73,921
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,585	4,792
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10,000	16,248
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	12,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,726	11,886
未収消費税等の増減額(△は増加)	59,487	△8,917
その他	△26,129	△123,974
小計	327,109	432,994
利息及び配当金の受取額	1,732	1,766
法人税等の支払額	△158,782	△249,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,059	185,578
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,002	△40,000
定期預金の払戻による収入	40,000	40,000
有形固定資産の取得による支出	△50,120	△27,570
有形固定資産の売却による収入	—	3,196
無形固定資産の取得による支出	△26,848	△3,546
投資有価証券の取得による支出	△3,069	△3,009
その他	△1,940	△694
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,981	△31,623
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△174	—
配当金の支払額	△95,091	△130,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△95,265	△130,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31,808	△5,008
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,996	18,585
現金及び現金同等物の期首残高	619,878	745,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	580,882	764,508

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。